

## 第615回番組審議会報告

2017年2月7日開催

### ■出席委員

櫻井美幸委員長 佐藤友美子副委員長 佐藤卓己委員 津村記久子委員  
中野健二郎委員 東野博昭委員 細見良行委員 丸山雅也委員

### ■毎日放送出席者

三村社長 梅本専務 木田取締役 宮田取締役 浜田取締役  
磯澤報道局長 池崎プロデューサー 大牟田コンプライアンス室長兼  
番組審議会事務局長

### ◆議事の概要

テレビ番組「生！池上彰×水道橋博士」

(2017年1月13日(金) 24:35～25:35 放送)

について意見交換した。

### 【各委員の主な意見は次の通り】

- \*収録番組であれば編集でカットされるかもしれない際どい話もあったが、生放送ならではのハラハラ感、臨場感があってよかった。
- \*水道橋博士が単なる聞き役におさまらなかったせいで、韓国とトランプ大統領の問題を取り上げながら、見終わってみると、実はこの番組のテーマはメディア論だったという印象を受けた。
- \*「あ、それを聞きたかった」という質問から始まって池上さんが解説するという番組の作りがとても丁寧で、「あ、それを知りたかった」という疑問も解消してくれた。
- \*池上さんは自分の意見を言わない人かなと思っていたが、「こんなことを言うんだ」と思うような発言もあって新鮮だった。
- \*水道橋博士が、一般視聴者が普通に共感できることをしっかり言葉にしている、見ていてすごくスッキリした。
- \*池上さんが断片的な映像だけで全体像をとらえてはいけないと話してい

たのに、同じ映像が繰り返し放送されていた。また、池上さんが話した内容と放送された映像が一部リンクしていなかったところがあったのは残念。生放送なのだからすぐにフォローしてほしかった。

\*慰安婦問題といった、多くの日本人があまり触れたくないテーマで、内容的には相当きついことを言っているのに、それがそういうふうに見られないのは池上さんの人柄のなせる業だ。

\*いつも“教える”立場の池上さんが持論を熱く語る姿、水道橋博士と激論を交わすようなところを見たかった。

\*メールを使った双方向性は重要だと思うが、質問と池上さんの答えがかみ合っていないところもあった。もっと生放送ならではのリアルタイムでの視聴者とのつながりを見せる工夫があつてよい。

\*番組前半にCMが入っていなかった分、後半はCM過多という印象だった。

\*「先生に教えてもらう」のではなく、タイトルの「×水道橋博士」の「×」の部分にもっと意味を持たせて、バトルや議論になれば番組の個性が出て、他の番組と差別化できるし、池上さんの意外な反応が楽しめるかもしれない。

\*池上さんは様々なテーマを非常にわかりやすく解説する、一級の“職人”だが、池上さんに頼っている現状は、テレビが十分わかりやすいニュースを伝え切れていないということを示している。日々のテレビ報道というものを改めて考える必要がある。

#### 【番組制作者側の説明、質問への回答】

\*普段の池上さんと山里亮太さんとの組み合わせによる番組では、池上さんが教える立場で、山里さんが聞き手として存在しているという構図だったが、今回の放送では水道橋博士が単なる聞き役ではなく、自分の意見を池上さんにぶつけていくことになった。むしろそういうところをもう少しこの番組の特徴として出していくべきではないかとの多くの意見

をいただいた。参考にさせていただいて今後の番組作りにあたりたい。

- \*番組では、「そもそもこの問題って何？」という「そもそも」から始めたいと考え、基本的なことを押さえた上で、初歩的な質問から次第にテーマを深掘りしていくのだが、生放送だけに往々にして予期しないことが起きる。今回もトランプ大統領の話題からメディア論のほうに行ってしまった。結果、時間が足りなくなることもあるのだが、それが生放送の面白さでもあり、時間との戦いのなかでスタッフも鍛えられている。
- \*同じ映像が繰り返し使われていたという指摘については、非常に重く受け止めている。映像の持つインパクトの大きさをふまえながら、ときには抑制的にすることも考えるべきで、いわゆるインサートVTRを意味もなく出すということはないようにしたい。これはこの番組に限らず、普段のニュース番組、情報番組にも通じることとしてしっかり受け止めたい。
- \*この「生！池上」は3月以降もほぼ月イチのペースで夏ごろまでは放送していく予定。今回委員から指摘のあった、ツイッターを画面の下に出したり、手際よくまとめて字のうまい報道局員がスタジオ内のホワイトボードに書き留めたり、といったさまざま演出上の工夫についてはこれまでも取り組んできた。こうしたトライ・アンド・エラーを重ねていくのも生番組制作の醍醐味の一つと考えている。

以上